

モバイル

お客様や社会のイノベーションを支える高度なモバイル活用に向けて、モバイル製品・サービス群を2013年8月に「FUJITSU Mobile Initiative」として体系化し、常に最新のソリューションを提供するためのラインナップ拡充を行っています。お客様のモバイル活用への多種多様なニーズの広がりや課題に対し、垂直統合力とカスタマイズ力に対応していきます。

【FUJITSU Mobile Initiative 製品・サービス体系図】

	ワークスタイル変革			ライフスタイル変革		
	オフィス	営業	現場	交通・車	健康・医療	食・農業
コンサル/SI	モバイルインテグレーション					
	・ワークスタイルUXデザインコンサルティングサービス			・TRIOLEモバイル・フロント基盤 設計構築サービス		
アプリケーション	モバイル対応アプリケーション・サービス (約100種)					
モバイル活用基盤 (サービス型)	仮想デスクトップ基盤		リモートアクセス基盤		モバイルアプリ開発/実行基盤	
	・仮想デスクトップサービス V-DaaS		・FENICS II ユニバーサルコネク		・MobileSUITE ・Smart Biz Connect	
モバイル活用基盤 (オンプレミス型)	・Citrix XenApp / Citrix XenDesktop ・VMware Horizon		・モバらくだ		・Interstage Mobile Application Server ・Interstage AR Processing Server	
	統合商品					
	・モバイルレビューEXパック					
セキュリティ	モバイル管理 (EMM)		認証 / 検疫		データ保護	
	・Systemwalker Desktop シリーズ ・FENCE-Mobile Remote Manager		・SMARTACCESS ・iNetSec		・CLEARSURE (リモート消去) ・FENCE-Pro (ファイル暗号化)	
ネットワーク	モバイル回線 (3G/LTE)			無線LAN (Wi-Fi)		
	・FENICS II ユニバーサルコネクモバイル回線サービス ・FENICS インターネットサービス モバイル接続 LTE Dタイプ			・SR-Mシリーズ / Cisco / Aruba ・FENICS II ビジネスWi-Fiサービス		
デバイス	ノートPC	タブレット/スマートフォン	サービス	周辺機器 他		
	・LIFEBOOK ・FUTRO	・ARROWS Tab ・ARROWS	・カスタマイズプラスサービス	・ScanSnap (モバイルスキャナ) ・Cisco TelePresence (TV会議)		

各種パートナーサービス スマートデバイス他

■ 主なトピックス

学びの場で安心して使える「ARROWS Tab Q506/ME」

情報端末一人一台を目標とする国内小中高の教育市場をターゲットに、形状や堅牢性、カメラやタッチペンの使いやすさなど教職員や児童・生徒の声を反映し、学習現場での使いやすさに徹底的にこだわって開発した文教向けタブレット。

モバイル開発/活用基盤「MobileSUITE」を強化 (業務システム連携機能)

お客様の業務システムとモバイルアプリをつなぐ機能をクラウドサービスとして提供。認証やAPI管理などの必要機能をサービスとして提供するため、最小限の開発で素早く業務システムのモバイル化を実現。

働き方のビジョン策定、ワークスタイル「UXデザインコンサルティングサービス」

ワークスタイル変革を目指すお客様の多種多様なニーズに対し、ビジョン策定・利用シーンイメージ作成から、モバイル・ウェアラブル機器の導入施策まで、ワークスタイル変革をデザイン思考のプロセスとツールを活用し、統合的にデザインするサービス。

体感型デモルーム「Mobile Initiative Lab」開設 (2015年10月)

富士通のワークスタイル変革実現への取り組みや様々な事例、お客様の未来の働き方のイメージづくりまで、関連ソリューションを交えて総合的に体験できるプライベートデモルームを富士通トラステッド・クラウド・スクエア (浜松町) に新設。

■ 体制

2015年4月に新組織「モバイルイニシアティブセンター」を新設 (50人)

富士通グループのモバイル活用とワークスタイル変革実現のための、商品・ソリューション群の横断的な企画立案/プロモーション/提案までを一貫して推進し、総合的にお客様をサポートできる体制を整備しました。

■ 実績/販売目標

2014年度 (実績) 1,753 億円

2015年度 (目標) 2,000 億円